

社会福祉法人 関西中央福祉会
平成リハビリテーション専門学校

第2回 教育課程編成委員会 議事録

1. 開催日時 令和3年3月9日（火）18時00分～18時50分
2. 会議出席者
 - 樋笠 重和 (兵庫県理学療法士会 支部担当局長)
 - 渡邊 康子 (兵庫県作業療法士会 理事)
 - 玉井 由美子 (兵庫県言語聴覚士会 阪神南ブロック長)
 - 松本 憲作 (淀川平成病院 理学療法士)
 - 田山 大介 (西宮回生病院 作業療法士)
 - 井上 真一 (神戸平成病院 言語聴覚士)
3. 陪席者
 - 藤本 陽子 (副校長)
 - 松村 竜誠 (理学療法学科 学科長)
 - 田中 裕二 (作業療法学科 学科長)
 - 青木 崇 (言語聴覚療法学科 学科長)
 - 奥田 秀樹 (事務長)
 - 横川 武 (理学療法学科 前学科長)
4. 会議の場所
兵庫県西宮市津門西口町2-26 平成リハビリテーション専門学校内
Web 会議方式にて実施

5. 審議・議題事項

開催にあたり、各委員及び当校役職者の紹介を行う。

続いて今回の議長の推薦をはかったところ、議長を青木学科長、書記を奥田事務長で推薦することを決め議事審議に入る。

議案1. 新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う実習中止における本校の取組みについて

スライドの資料に基づき、藤本副校長より説明を行う。

- ・各学年、各学科の1年間の実施状況について紹介する。
- ・実習対策読み替え授業（オンライン授業と対面授業）
- ・各学科の実習読み替えの詳細説明

議案2. コロナ禍における授業の取り組みについて

スライドの資料に基づき、藤本副校長より理念の説明を行う。

- ・各学年、各学科の1年間の実施状況について紹介する。
- ・前期日程と後期日程についての授業方法について。
- ・感染対策について。

議案3. 臨床現場からの実習経験の少ない学生（新入職者）を迎える現場として、学校教育に対しての要望

各教育課程編成委員よりアドバイスなどを戴く。

- ・地域包括ケアについてどうすべきかを考えさせる機会を与えてはどうか。
- ・就職後、現場に入ってからでも自分の意見を積極的に出してほしい。
- ・学校と医療現場との交流があっても良いのでは。
- ・今年度は医療現場での研修については例年より期間を長めにして対応予定。
- ・現場実習を実施していないという負い目を感じず、しっかり実習読み替えの実績を活かしてほしい。
- ・コロナ禍での学生のメンタル面や行動制限に危惧するので、何か良い対処策を考えてもらえれば。

藤本副校長より次回委員会開催予定（6月頃）と3月末の任期満了に伴う
継続就任依頼などについて説明とお願いを行う。

以上をもって各審議・報告事項を終了する。